

「小児手術患者における末梢静脈路の血管外漏出についての後方視的観察研究」

1. 研究の対象

2021年4月1日から2026年3月31日までに当院で手術を受けられた15歳以下の患者さんのうち、手術室で末梢静脈路（腕や足の点滴）を確保された方

2. 研究目的・方法

研究期間は倫理申請承認後～2026年9月15日までの予定です。

お子さんの点滴確保は、成人と比較して腕や足の表面に見える血管の数が少ないため難しいです。点滴の針が血管内に入ってもその後に皮下に漏れることもあります（血管外漏出）。薬剤や輸液が血管外に漏れても全身麻酔下では患者さんは痛みを訴えることができません。血管外漏出の発見が遅れた場合、漏出した部位の皮膚障害が生じることがあります。

今回、当院の小児手術で末梢静脈路が血管外漏出した患者さんの傾向について調査し、今後血管外漏出の予防策を検討する予定です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

診療記録から対象患者さんの年齢や身長、体重、術前の身体状態、腕や足の点滴の部位、血管外漏出の有無などを抽出します。そして、血管外漏出の発生頻度や血管外漏出の特徴（点滴確保部位および患者さんの年齢や体格との因果関係）について調査します。

個人が特定される情報（名前、手術日など）や病名、手術名などは抽出いたしません。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

宮城県立こども病院 麻酔科部長 篠崎友哉（研究責任者）

仙台市青葉区落合4丁目3番17号 電話 0570-003-876（ナビダイヤル）